

## 岩手県金融経済概況

### 1. 概況

県内経済は依然として足踏み状態が続いており、企業の景況感は、製造業を中心に足もと悪化している。

すなわち、生産面ではIT関連分野の在庫調整が尾を引いているほか、個人消費は、所得環境に捗々しい改善がみられない中、大型小売店の売上等を中心にやや弱めの動きが続いている。また、建設関連では、住宅投資が横這い圏内で推移する一方、公共投資の減少が続いていることから低調に推移している。

もっとも先行きについては、当面はなお慎重な見方が多いものの、IT関連分野での在庫調整一巡後、持ち直しへの期待感も根強く、新年度の事業計画をみると、製造業を中心に積極的な能力増強投資が計画されているほか、企業収益面でも下期中心に回復が予想されている。

この間、金融面では、平穩裡にペイオフ全面解禁を迎えた。

(注) 企業の景況感及び設備投資・収益等事業計画の詳細については、「岩手県短期経済観測調査結果(2005年3月)」「(2005年4月1日、日本銀行盛岡事務所)」を参照。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、家電や乗用車の販売に一部持ち直しの動きもみられるが、大型小売店では主力の衣料品等を中心に売上げが伸び悩んでいるほか、旅行取扱高も国内旅行の伸び悩みから盛り上がり欠けるなど、全体としてみればやや弱めの動きとなっている。

#### (大型小売店売上高)

百貨店・量販店の売上げは、ウェイトの高いファミリー層の消費抑制姿勢が続く中、降雪等による客足の減少や低温による春物衣料品の不振等もあって、低調な地合いが続いている。

(家電量販店売上高)

家電量販店の売上げは、パソコンの低迷が続いているものの、デジタル家電(薄型テレビ、DVDレコーダー)が価格下落に伴う需要喚起から好調を続けており、全体では持ち直しの動きが続いている。

(乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数は、新車投入効果等により、ウェイトの高い小型車を中心に底堅く推移している。

(旅行取扱高)

旅行取扱高は、海外旅行がアジア向け中心に持ち直しの傾向にはあるものの、国内旅行が弱めで推移しており、全体としては盛り上がり欠ける動きとなっている。

(2)住宅投資

2月の新設住宅着工戸数は、前年の大型分譲集中の反動から前年を大きく下回ったが、基調的には横這い圏内で推移している。

(3)公共投資

公共工事請負金額をみると、予算規模の縮小を背景として減少傾向が続いている。

3.生産動向

生産面では、輸送用機械、設備関連等で高水準の生産を継続している一方、IT関連分野の在庫調整が続いていることから、概ね横這い圏内で推移している。この間、建設関連では引き続き低水準の生産が続いている。

(電気機械)

半導体・電子部品は、IT関連分野の在庫調整の影響等に伴い操業度を引下げた後、概ね横這い圏内の動きが続いている。

(輸送用機械)

完成車は、北米向け高級車の輸出に加え国内向け新型車種の受注も好調であることから、生産水準を上げているほか、自動車部品でも海外需要が好調であることから、高操業を続けている。

(設備関連)

工作機械では、自動車部品メーカー向けを中心に豊富な受注残を抱え、フル操業を続けている。

(消費関連業種<紙・パ、精密機械>)

紙・パ(段ボール原紙)は、菓子類や飲料品向け需要の好調から、基調としては堅調に推移している。精密機械(時計部品)は、輸出市場における海外メーカーとの競合から、やや抑制する傾向にある。

(建設関連)

線材が、国内自動車メーカー向け出荷の好調から高水準の生産を継続しているが、合板、セメントやコンクリート二次製品など多くの品目では、公共投資の減少等を背景として、生産能力をかなり下回る低水準の生産が続いている。

#### 4. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、2月の有効求人倍率(季節調整後)は、前月改善のあと、小幅ながら再び低下し、一進一退の動きとなっている。

一方、所得面をみると、企業は引き続き人件費の抑制に取り組んでいるほか、このところ所定外給与も減少傾向にあることから、全体として捗々しい改善をみていない。

#### 5. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きが続いている。

#### 6. 金融動向

預金は、個人預金が堅調に推移していることから、全体として底固い動きを続けている。この間、4月1日からペイオフ全面解禁を迎えるにあたって、個人預金、法人預金ともに落ち着いた動きとなっている。

貸出は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが引き続き低迷していることから、全体では前年を下回って推移している。

以上